

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	介護計画の中にご利用者の好きな事、得意なことのプラスの面のアプローチの盛り込みが少ない。	・ご利用者の出来ることをプランに反映し、一緒に実行することで、やりがいをもって生活を送っていただく。	・ご利用者の出来ること出来ない事、こだわりの再確認を行う。 ・アセスメント用紙の見直し。 ・ケアプランへの反映	12ヶ月
2	15	食事の時のテーブルの高さ、体の位置、姿勢のバランスが悪く食事に集中できていないように思われる。	・より安全に集中して食事が楽しく安全に食べる事ができるようにしたい。	・座布団にて座高の高さを調節し、その方に合った高さをみつける。 ・車椅子の方は出来るだけ椅子に座ってもらうよう試みる。 ・テーブルの脚を切る場合は、ご利用者の意見を取り入れながら切って調節する。	12ヶ月
3	17	現在週2回の入浴を行っているが、入浴時間が限定されており、入浴の時間や回数に対する、ご利用者の希望に沿った柔軟な支援ができる体制が整っていない。	・肌着のマメな交換を行い、清潔を保つよう心掛ける。 ・夏場の入浴回数を増やす。	・現在午前のみ入浴時間だが、午後も入ることができるよう、入浴時間の調整を行う。 ・夏場は利用者の希望も取り入れつつ、週3回の入浴やシャワー浴を目指す。 ・入浴の嫌いな方は、肌着や衣類の交換を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。